



ロータリー： 第 17 回例会 通算第 784 回 (11月2日)
変化をもたらす

【11月はロータリー財団月間です。】



会長挨拶

出席報告

【会 員 数】	51名
【出 席 者】	28名 (メーキャップ 14名)
【出 席 率】	87.50%
【出席免除者】	6名
【休 会 者】	1名

気象データ

【天 気】	晴れ
【最高気温】	20度
【最低気温】	9度



本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
3. 四つのテスト唱和
4. 会長挨拶
5. 各種表彰
6. 「ロータリーの友」
の読みどころ
7. 会員スピーチ
8. 閉会点鐘



2017-2018 年度
福島 21 ロータリークラブ会長

望木 昌彦会長

皆さん、こんばんは。11月は「ロータリー財団」月間であります。お客様をご紹介いたします。一般財団法人ふくしま未来研究会の研究員の佐藤ゆうすけさんです。本日のスピーカーの梅津会員の手伝いに来た方です。2020年、日本RCが発足して100周年を迎えます。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じ、世界理解と平和を達成しようとする、国際ロータリーの努力を支援することです。

本日は、当クラブの大波委員長並びに佐藤信博副委員長から財団の意義・予算等を具体的に説明して会員皆様のご理解をいただき、寄付の増額を求め、目標達成のためにロータリー財団への寄付のご協力を特にお願い申し上げます。なお、寄付目標は①会員一人当たり150ドル(1万5,600円)、②ポールハリスフェロー、マルチプルフェロー5名以上、ベネファクター1名以上、③米山財団寄付目標 普通寄付が一人5,000円、特別寄付が一人1万円です。よろしくお祈りいたします。

ロータリーの友(11月号)の読みどころ



【横読み】
P.7～P.11
インターアクター
と連携する
P.12～P.17
私たちの目標：
ポリオのない世界

【縦読み】
P.4～P.8
ロータリー財団奨学生、その後
P.29
ロータリーアットワーク
白河ロータリークラブ
P.32
ロータリーアットワーク
郡山東ロータリークラブ

各種表彰

米山功労クラブ表彰・永年在籍ロータリアン表彰・米山功労者表彰・ロータリー財団表彰が行われました。



- ・第10回米山功労クラブ 福島21ロータリークラブ
- ・永年在籍ロータリアン表彰(40年) 望木 昌彦会長
- ・米山功労者マルチプル(第2回) 望木 昌彦会長
- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- (第4回)阿部 正美会員、(第3回)大波 紀仁会員
- (第2回)寺島 英之会員、(第1回)安田 清治会員、伊藤 淳一会員
- ・ポール・ハリス・フェロー 松本 和彦
- ・米山功労者マルチプル
- (第6回)宗形 守敏、(第3回)大波 紀仁
- (第1回)本柳 春男、松本 和彦

本日のお食事



おにぎり
豚汁

今月のプログラム

11月 2日(木)	ゲスト・会員スピーチ サンパレス福島 18:30～19:30	16日(木)	二本松あだたらロータリーとの合同例会 サンパレス福島 18:30～19:30
9日(木)	ゲスト・会員スピーチ サンパレス福島 18:30～19:30	23日(木)	休会
		30日(木)	ゲスト・会員スピーチ サンパレス福島 18:30～19:30

発行：福島 21 ロータリークラブ会報委員会
委員：藤野圭史 粕谷悦功 村井弘樹

・プログラムは変更になる場合があります。
・終了したプログラムは赤色で表記しています。

Love People Work and Nature

人を愛し、仕事を愛し、自然を愛する

新会員スピーチ 梅津 茂巳会員



今回で2回目のスピーチになります。重なるところがあればお許し下さい。今回も先輩経営者から教えていただいた話をしてみたいと思います。前回もお話ししましたが、経営者におけるスピードの重要性はますます高まってきていると思います。

スピードには二つの意味があると思います。

・ほかに先んじてやる早さ (fast) ・仕事を素早くやる早さ (eary) です。

経営者は状況の変化を誰よりも早くつかまないとイケない。それは時間というタイミングがずれてしまうと、せっかくのアイデアも紙くず同然になってしまうからです。

次にお話ししたかったのが「目標を高く持って仕事をする事」です。皆さんはいかがですか？ 常識で考えたら、まともとは思えないくらいの高さの目標を持つことです。なぜなら、高い目標を実現する為には色々なことを変化せざるを得なくなります。

1.1倍、1.2倍の目標では従来の発想を脱せません。これは他社も発想でき、競争が激しくなります。3倍・4倍の目標に向かうことは明らかな発想の転換が必要です。こうなるには自分がブランドにならないといけません。結果、思い描いたことを実行に移し、出来る方法を探し、出来るまで実行する。

その結果、イノベーションが生まれ、そのイノベーションが顧客を創造し、高い目標を実現してくれるのです。

私も今ふくしま未来研究会で

- ・30年後の福島が希望の光で輝くように
- ・30年後の福島に豊かな実が育つように

を目標に頑張っていきます。



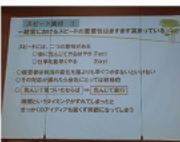
■スマイリングBOX■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、佐藤信博バスト会長、山口和吉、三原善明バスト会長、佐々木廣光バスト会長、阿部正美バスト会長、藤野史史、本田勝秋、樋口静丸、若林園四甲、野崎正広、本柳春男、松本和彦会長エレクト、菱沼勝秋、渡辺浩子バスト会長、今泉聡、橋内美智夫、小池優、村井弘樹、梅津茂巳、丹治将弘



■附団BOX■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、佐藤信博バスト会長、小林利光、佐々木廣光バスト会長、阿部正美バスト会長、藤野史史、本田勝秋、若林園四甲、本柳春男、松本和彦会長エレクト、菱沼勝秋、渡辺浩子バスト会長、橋内美智夫、小池優、村井弘樹、梅津茂巳



■米山記念奨学基金■

望木昌彦会長、大内久美子幹事、小林利光、阿部正美バスト会長、藤野史史、本田勝秋、本柳春男、菱沼勝秋、渡辺浩子バスト会長、今泉聡、橋内美智夫、小池優

